

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 第19回公民館全国セミナー参加報告

4.5

- 2 トピックス 第4回理事会・第2回評議員会開催
- 3 視点 今一度問い直したいこと
- 3 ひろば 食の思い出
- 6 実践記録シリーズ 平成19年度中越地区公民館連絡協議会の主な研修事業報告
- 7 サークル交流 今に伝える歴史絵巻(胎内市) / 音色に魅せられて(津南町)
- 7 素顔拝見 横澤 亮さん(糸魚川市) / 丸山 正さん(新潟市)



「雪合戦大会」「ふるさと加茂かるた大会」 加茂市

表紙解説 今年で3回目の雪合戦大会は1月27日に加茂山公園で、一方28回目のかるた大会は2月2日に加茂文化会館で行われました。両大会とも大勢の子どもたちの歓声と熱気で盛り上がりました。

第4回理事会・第2回評議員会開催

20年度基本方針・事業概要決定

去る2月27日(水)10時、新潟市白根学習館で、第4回理事会と第2回評議員会が合同で開催された。

協議題は、(1)平成19年度会務報告ならびに収入支出決算見込みについて (2)平成20年度の基本方針・事業計画ならびに収入支出予算案の作成について (3)第59回新潟県公民館大会(上越市)の開催につ

いて (4)新潟市の政令指定都市発足に伴う今後の事務処理について (5)規定の改正について (6)当面の問題について

協議し、ほぼ原案どおり承認された。
一、平成19年度会務報告と収支決算見込みについて
中越沖地震発生に伴う第58回県公民館大会は、紙上大会に切り替えての開催となった

こと、またその代替研修会が、上越市で2月13日(水)、新潟市で2月27日(水)開催されたこと等が報告された。

収支決算見込みについては事務局の節減努力と資料販売等により、基金からの繰り出し金を最少限に抑制できたこと等も報告された。
二、新年度の基本方針、収支予算案の作成について

基本方針は左掲のとおりであるが、予算案の作成にあたっては、事務職員の人件費削減、全国公民館大会への参加見合せ等により、何とか作成の目処が立ったことが報告された。

三、第59回県公民館大会の開催について
大会開催地の上越市から提案され、7月18日(金)リジョンプラザ上越で予定どおり開催することとなった。
四、新潟市の政令指定都市発足に伴う今後の事務処理について

平成20年 新潟県公民館連合会基本方針

基本方針

県内の市町村合併も県北地域の合併で一応終了し、最終的には、31市町村に収められております。

県内の公民館では、市民センターやコミュニティセンター的機能の導入等により、多機能・複合化の動きも出て来ております。そして当県公連としては、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済、という大変重要な問題にも対応し、5年目を迎えております。

このような厳しい時代の大転換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、私ども新潟県公民館連合会では、到来した団塊世代への対応等を含めて、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織・地域住民の理解・協力を得ながら、次の5点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1)関係上部組織とのより一層の連携・強化
- (2)職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3)情報提供事業の充実・拡大
- (4)事業の自己評価
- (5)財政基盤の強化(自主財源確立への努力)

平成20年度より会長が長岡市となるが、副会長の新潟市が文書及び会計執行の代決を行うこととなった。
五、規程の改正について
事務職員の報酬支給規程の一部改訂と、勤務時間の変更による一部改訂である。
以上予定どおり会議を終了し、殆んど全員が午後の研修会に参加した。

BOOKS INFORMATION

自主財源確立のためには

「新潟県公民館月報」の自主購読推奨

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年極 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

今一度 問い直したいこと



妙高市青少年学習施設事務局長 関谷 昇

最近目にした新聞の「コラム」欄の引用で恐縮であるが、退職後も子どもたちと触れ合う機会が比較的多く、その中で感じていることと重なる部分が多くあったので、紙面をお借りして述べてみたい。

—アジアの隣国フィリピンの中学生の団が、交流事業の一環として日本の中学校で一週間にわたって授業や部活に参加したという。そこで通訳として同行したフィリピンの大学生が、日本の中学生に向かって次のように語りかけた。『フィリピンの中学生は授業中に居眠り三回すれば即退

学。だが、日本にあるような《いじめ》はない。それは誰もが助け合っていかなければ暮らしていけないからだ。』

この大学生の話は鮮烈で、生徒の心を強く揺さぶったこととはいうまでもない。もはや後戻りはできない豊かな物質に囲まれた現代社会において、価値観や目的意識が希薄なまま生活を強いられている日本の子どもたち。今一度「なぜ人は学ぶのか、そして働くのか」を問い直すとともに、その意味を子どもたちに教えることが、私たち大人の責務でないかと思う昨今である。

H O T N E W S

掲 示 板

平成19年度 第3回関東甲信越静 公民館連絡協議会理事会開催

2月22日(金) 千葉市生涯学習センター (出席22名)

- 開会のことば 星野副会長 13:30
- 開会あいさつ 高橋会長
- 理事会
 - (1)議事
 - ①第30回全国公民館研究集会兼第48回関東甲信越静公民館研究大会(栃木大会)の予算執行状況について
 - ②平成19年度関東甲信越静公民館連絡協議会事業報告及び収支決算について
 - ③監査報告
 - ④第49回関東甲信越静公民館研究大会(千葉大会)開催計画について
 - ⑤第50回関東甲信越静公民館研究大会(山梨大会)について
 - ⑥第31回全国公民館研究集会(高知大会)における発表及び司会について
 - ⑦平成20年度役員(案)について
 - ⑧平成20年度関東甲信越静公民館連絡協議会理事会の日程等について
 - ⑨その他
 - (2)情報交換
 - (3)その他
- 閉会のことば 朱膳寺副会長 15:30

ひろば

食の思い出

津南町社会教育委員会事務局 島田 陽

多し。 昨今、食に関する話題が

多い。 私は昭和25年生まれ。 学校から帰っても農作業 等で家には誰もいないこと が多い。

釜を開け、冷や飯に残りの味噌汁をかけてサクサク サク。味噌汁の具はナスや ジャガイモが多かったよう な気がするが、暑い夏、冷たい味噌汁かけ飯は癖にな るほど美味しかった。

通学途中のお店が火事にな った時、ガム等の品物が 通学途中の水路に流れ込ん でいることもあって、一時、 その水路は男子の宝探しの 場となった。

「お。このビール瓶、栓 が開いていないぞ」「飲んで



でみるか」の声から、茶飲み茶碗をもって私の家の裏の林に集合と言ったことになりました。恐る恐る栓が抜かれ、茶碗に注がれたビールは泡立ち、大人が飲んでいる飲物に興味津々のなか口をつけました。「ウー、にがい」「うまくない、まずい」。茶碗の中の液体は林の土に吸い込まれてゆきました。

今では、「それくらいで止められて！」と言われている飲物なのに。

セミナー参加報告



新潟市西川地区公民館
主査 本田 徹

【講演とグループ討議】

和田さんに引き続きまして、セミナー2日目からの報告をします。

主催者側で参加者56名を7～8名ずつのグループ7班に分け、ワークショップ方式で1日かけて吉田清彦氏（フリーライター&調理師）と牟田静香氏（NPO法人男女共同参画おた理事）から「行列のできる講座のつくり方」の企画内容や、チラシの編集方法などのノウハウを学びました。

まず、人が集まらないことを

- ①天気や住民の意欲・意識の無さのせいになっている。←人が来なくてもしかたがないと考え、定員割れを認めていない
- ②税金が無駄に使われていることを意識していない。←ミッション（仕事）を完結していない
- ③「企画力」と「広報・PR力」が不足していることに気がつかない。←前年度どおりにしているだけで改善・検討を行っていない

次に、どうやって対処すべきかは

- ①ニーズにあわせる。←年代・性別、所帯持ちかなどによって参加しやすい曜日や時間、話題性が違うこと
- ②興味のあるテーマと合体させる。←手打ちそばやお金、ゲーム、流行や目新しいことなど
- ③コンビニで雑誌等の見出しを研究する。←「はじめての」「品格」「ごほうび」「オーラ」「ココロ」※「ケータイ 検索」など
- ④見出しは大きく、紙面の1/4～1/3を使って訴える。

そして、もっとも大切なことは

- ①ターゲットを絞る
- ②ターゲットの心に響くタイトル
- ③担当者の熱意と努力

であると強調していました。

グループ討議では、実際のチラシで定員に対する申込者数を予想したり、チラシの改善点等を話し合いました。

【講義と演習】

3日目の最終日の午前、広報誌アドバイザー（元産経新聞盛岡支局長）の芝沼隆一氏による、「これからの広報戦略と魅力的な公民館報づくり」をテーマに講義が行われました。

まず、ニュース記事は5W1H（いつ、どこで、誰が、何を、どうした、なぜ）が基本。短く的確に相手に伝えるための文章にするためには、「結論」から書くこと。そして「経過」や「関連」した内容を付加していく。そうすることで、紙面にゆとりがない場合には、逆に関連>経過から記事を削除することができ、削除しても結論だけ残っていれば最低限の情報を伝えることができる。

見出しに引かれて記事を読むから、見出しで記事の内容がわかるように、また、目立つ大きさで、目立つ位置におく。表紙の写真は①ビューティ（女性）②ベイビー（赤ちゃん）③ビースト（動物）の3Bを活用する。

演習では、役所言葉を平易な文章に書き換えたり、記事内容からわかりやすい見出しを付ける練習をし、それらを読み上げるなどしました。

最後に芝沼氏は、待ちの姿勢ではなく、積極的に地域に入って行き、住民・時代・文化の今を観察してほしいと締めくくりました。

このような貴重な機会をいただき、感謝を申し上げますとともに今後活かしていきたいと思えます。



特集

第19回公民館全国



小千谷市公民館
副参事 和田 顕雄

はじめに

北は北海道から南は沖縄県まで全国から公民館関係職員55名が一堂に集い、日頃接することのできない多彩な公民館を運営する職員との情報交換を行うなかで、小千谷市の公民館を改めて見つめる機会を得ることができ、大変有意義なセミナーでした。

それでは、1日目の特別講演からご紹介します。

【特別講演】

「公民館にかかわる最近の動向」と題して、文部科学省生涯学習政策局社会教育課長の平林正吉氏が講演されました。①社会教育施設の概要 ②学級講座の開設状況 ③公民館の現状 ④公民館の利用者数 ⑤公民館予算と公民館をめぐる全国の状況及び公民館活性化に向けた国の取り組みについて、分かりやすく説明がありました。

また、教育基本法改正を受け、平成20年度予算の中から公民館関連予算については、「学校支援地域本部事業」を中心に解説されました。当該事業は学校と地域の連携を図り、地域の力を活用することで地縁的なつながりの希薄化・個人主義の浸透を打破し、地域の教育力の向上を目指すものです。学校部局と社会教育部局との連携・地域全体で取り組む体制づくりが重要であり、団塊世代の退職者が学校ボランティアとして多方面の分野で活躍できるなど、大変重要な事業であることを認識いたしました。

最後に、公民館をめぐる状況が大変厳しい環境であることを理解して、全国の関係者が工夫して活動することに期待しているとの激励があり、受



文科省 社会教育課長
平林氏

講者一同気持ちを新たにして取り組むことの大切さを学びました。

【シンポジウム】

各界で活躍されている4名の講師を招き、「あなたの公民館力を上げよう」をテーマとしてシンポジウムが開催されました。

「町を良くしていく一番重要な部署は社会教育である。『話をするこゝろ〜つながること』が大切。行政と市民と一緒に協働する取り組みが重要で、公民館は大きな力として位置づけられる。(東京都福生市長 野澤久人氏)」

「一部の公民館が機能を果たしていないため、公民館不要論が出てくる。公民館には何もない〜人と人とのつながりにより生まれてくるものである。日本の成長に追いついていない分野に社会教育・公民館がある。(NPO法人教育支援協会代表理事 吉田博彦氏)」

「学習することで『自分を考える時間』を持つことが大切、『今、重要なこと』をテーマ・題材として講座を開設している。公民館で待つだけではなく、出前することも大切。(千葉県公民館連絡協議会会長・千葉県船橋市北部公民館長 朱膳寺宏一氏)」

「公民館は施設が立派であることも重要であるが、人材の育成が大切。講座の開設だけではダメ、グループづくりのなかから市民が成長し、成果が上がる。(貝塚市教育委員会社会教育係長 村田和子氏)」

最後に、パネラー各氏による意見交換がなされ、社会教育・公民館の重要性を再認識させられる発言に受講者は熱心に耳を傾けました。



実践記録 120 シリーズ

平成19年度中越地区公民館連絡協議会の主な研修事業報告

公民館研究大会 (H19. 7. 12 / 出雲崎町体育館)

主題：生涯学習社会における公民館の今日的課題を探る



講師：宇都宮大学准教授
佐々木英和 様



事例発表：「田尻地区の夢づくり人づくり地域づくりに向けて」
柏崎市田尻コミュニティセンター長 石塚欣一さん



公民館職員研修会 (H19. 10. 4 / 魚沼市中央公民館)

主題：住民の声を事業に生かすグループワークの手法を学ぶ



指導者：
清水隆太郎 様



グループからの
プレゼンテー
ション

公民館長・主事・公運審等研修会 (H19. 11. 16 / 燕市文化会館)

主題：新教育基本法施行 今、家庭教育を考える



講師：
新潟経営大学教授
中島 純 様



事例発表
田上町公民館：
「ボランティアの参画システム」
佐藤みどりさん



加茂市公民館：
「公運審家庭教育部会 家庭教育かるがも隊」
古川裕美子さん

今「伝」える歴史絵巻

板額会

胎内市の中世の歴史と、弓の高手として名高い女武者「板額御前(はんがくごぜん)」にスポットを当て、一般の人に広く知ってもらうためのイベントや学習会を行っています。

毎年9月に歴史イベント「仲秋の名月・板額の宴」を開催し、板額御前の生涯を綴った演劇や武者行列、伝統芸能などを披露しています。その際使用する鎧は、なんとタンボールから作ったお手製のもの！文字通り一般市民による「手作



りの」イベントです。

また、同イベントの中で、2年ごとにコンテストをおこない、板額御前役の女性を選出しています。現在5代目が活躍中です。

胎内市「板額会」
神田 真由美 記



音色に魅せられて

オカリナサークル「土笛」

オカリナの音色が大好きな仲間で、十数年前にオカリナサークル「土笛」を結成し、今に至っています。

メンバーは、それなりの美男美女の30代〜60代、子育て中の冬眠者を含めて10名程で



す。現在は6名で活躍しています。自主コンサートをしたリ、福祉施設の訪問や色々な地域行事で、ポップスや唱歌、クラシックス等色々なジャンルを演奏しています。メンバーの息が合い、美しいハーモニーが奏でられた時は最高です。今後の夢は、この自然豊かな妻有の里で、大勢のオカリナ仲間と交流コンサートを計画することです。これからも、オカリナの音色を楽しんでいきたいと思っています。

津南町・
オカリナサークル「土笛」
江口 幸枝 記

糸魚川市の期待の新人、横澤亮くんを紹介します。横澤くんはこの4月、みごと糸魚川市に新規職員として採用され、教育委員会生涯学習課へ配属となりました。4月の初出勤での質問「スーツって何着持っていますか？」と聞かれたのがもう昔に感じるほど、今では勤労青少年ホームの講座運営や企画をバリバリこなしています。今、彼が企画し

糸魚川市教育委員会 生涯学習課

主事 横澤 亮さん



素顔拝見

「丸山館長はどんな方だと思いますか？」身近な人たち10人に聞きました。「打てば響くって感じ。」「細かな気配りしてくれそう」「話すほどにいい人って感じ」「はつめげな感じ(器用・気をきかせ、こまめに動く)」など、など。ひとつひとつに納得、どれもこれもそのとおり。館長としてある時は背すじを伸ばしリーダーシップをとってくださり、またある時は、取り巻くさまざまな人たちの中へごく自然に入って新潟弁ま

新潟市東地区公民館

館長 丸山 正さん



じりのおしゃべりに花を咲かせたりして、和やかな雰囲気を作ってくださっているのです。また館長はめっぼうメカ全般にお強いのです！パソコンを含むキカイ系の能力について(右ではなく)左に出る者がいない私は、合理的、能率的に仕事をこなしていらっしゃる姿をただ、ただ尊敬の眼差しで仰ぎ見えています。きょうも丸山館長を中心に、東地区公民館は生き生きと活気づいています。

(新潟市東地区公民館 水上三枝子 記)

ているのはウインターフェスティバル!!この記事を読む頃には一段とたくましくなっていることでしょう。

そんな横澤くんですが、学生時代は陸上部の中距離ランナー。駅伝大会にも参加し、公私ともゴールを目指して着実に走ってゆく予感がします。頑張れ横澤くん!

(糸魚川市教育委員会 生涯学習課 中村 真義 記)

event information

新潟県立自然科学館

2008年 春の特別展



レゴ®エデュケーション

～みて・をわって・うぶがして科学体験～

レゴブロックでできる
キャラクターと
写真も撮ろう!

レゴブロックの
秘密をさぐろう!

レゴブロックでできる
キャラクターと
写真も撮ろう!

レゴマインドストームで
なんぞしよう?

火災救出大作戦に
チャレンジ!

3月8日(土) - 4月6日(日)
休館日: 毎週月曜日、3月18日(火)

期間中のイベント

イベント名	内容	開催日	開催場所	開催時間	参加費	参加人数	参加方法
ワークショップ レゴマインドストームプログラミング	火災救出ストーリー「火災救出大作戦」でロボットプログラミングを体験できます	開催中(土・日・月) 3月15(土)、3月16(日) ほか	1階 講堂	11:00-13:00 13:00-14:00 15:00-16:00	小学生以上 小学生以上 小学生以上	1日1名 1日1名 1日1名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください
ロボットマインドストーム 展示	レゴマインドストーム 展示会場は、ロボット 展示場です	3/8(土)	3階 ワイメンズ 5号ホール	10:30-15:30 (観覧無料)	小学生以上 小学生以上	12名	電話予約による事前申し込み 必要です
ロボットマインドストーム 体験	レゴマインドストーム 展示会場にて、ロボット 体験ができます	開催中(平日)	1階 講堂	14:30-15:00	小学生以上	1日1名	先着順
作って楽しむ! ロボットプログラミング 体験	作って楽しむ! ロボットプログラミング 体験	3/23(日)	3階 ワイメンズ 5号ホール	13:00-16:00	小学生以上	20名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください
2008年春の特別展 「レゴエデュケーション」 展示	レゴエデュケーション 展示	3/23(土) 3/30(日)	1階 コントラスト ステージ	10:30- 13:30 13:30- 16:30 15:30-	小学生以上 小学生以上	1日1名 1日1名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください

新潟県立自然科学館 2008年 春の特別展 3月8日(土) - 4月6日(日)

遊び学ぶ レゴ®エデュケーション

レゴブロックのみつ
映像とパネル展示でアーティストによるレゴブロックの作品やレゴブロックの歴史、技術を紹介いたします。

レゴブロック組み立てコーナー
「レゴ基本ブロック」を使って子どもから大人まで自由に組み立て・体験ができます。

Dロボットのへや
レゴマインドストーム NXTをつかって組み立てられたロボットを動かすコーナーです。センサー等、ロボットに必要な技術を紹介いたします。

ワークショップ 『レゴマインドストームセンター』
火災救出ストーリーとした「火災救出大作戦」でロボットプログラミング体験を行います。※参加には事前予約が必要ですが、詳しくは下記の様をご覧ください。

レゴブロックのまち・デュロ組み立てコーナー

期間中のイベント

イベント名	内容	開催日	開催場所	開催時間	参加費	参加人数	参加方法
ワークショップ レゴマインドストームプログラミング	火災救出ストーリー「火災救出大作戦」でロボットプログラミングを体験できます	開催中(土・日・月) 3月15(土)、3月16(日) ほか	1階 講堂	11:00-13:00 13:00-14:00 15:00-16:00	小学生以上 小学生以上 小学生以上	1日1名 1日1名 1日1名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください
ロボットマインドストーム 展示	レゴマインドストーム 展示会場は、ロボット 展示場です	3/8(土)	3階 ワイメンズ 5号ホール	10:30-15:30 (観覧無料)	小学生以上 小学生以上	12名	電話予約による事前申し込み 必要です
ロボットマインドストーム 体験	レゴマインドストーム 展示会場にて、ロボット 体験ができます	開催中(平日)	1階 講堂	14:30-15:00	小学生以上	1日1名	先着順
作って楽しむ! ロボットプログラミング 体験	作って楽しむ! ロボットプログラミング 体験	3/23(日)	3階 ワイメンズ 5号ホール	13:00-16:00	小学生以上	20名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください
2008年春の特別展 「レゴエデュケーション」 展示	レゴエデュケーション 展示	3/23(土) 3/30(日)	1階 コントラスト ステージ	10:30- 13:30 13:30- 16:30 15:30-	小学生以上 小学生以上	1日1名 1日1名	電話予約による事前申し込み 必要です 申し込みは開催前日の18時までに 完了してください

新潟県立自然科学館 案内

交通案内
- 10:00-17:00 (入館は16:30まで)
* 期間中(平日) 毎週月曜日、3月18日(火)

入館料
大人550円 小中学生100円
小学生未満は無料
* 特別展は別途料金がかかります
* 特別展の入館料は別途料金がかかります
* 特別展の入館料は別途料金がかかります

お問い合わせ
〒950-0948
TEL (025)283-3331 FAX (025)283-3336
http://www.nisn.net.jp/nisn/

恵贈資料紹介

中越大震災十日町市記録集「あしたへ」

語り継ぐ10・23 未来へのメッセージ

(前略)

この記録は、十日町市が受けた被害と、復旧から復興へと歩んできた市民の3年間の記録です。

スツと目録で入れるりー下部分です。

内容は、第一章突然の激震 中越大震災を検証する、第二章地震発生から3日間、

第三章地域の習慣を生かす、第四章避難生活の「衣・食・住」、第五章混乱から復旧へ 見えてきた課題、第六章復興へのターニングポイント、第七章3年たったとおかまち、第八章語り継ぐこと、第九章資料編 データで見える復興の軌跡等々から構成されており、

多面的、そして多角度から切り込み、資料、データ、写真の活用等、すばらしい迫真



第三地域地域の習慣を生かす、第四章避難生活の「衣・食・住」、第五章混乱から復旧へ 見えてきた課題、第六章復興へのターニングポイント、第七章3年たったとおかまち、第八章語り継ぐこと、第九章資料編 データで見える復興の軌跡等々から構成されており、

多面的、そして多角度から切り込み、資料、データ、写真の活用等、すばらしい迫真

感あふれる文章で、今でも実感として迫り来るものがあります。

こうした災害報告者の突破口を切り開いた大変貴重な冊子でもあります。

感あふれる文章で、今でも実感として迫り来るものがあります。

こうした災害報告者の突破口を切り開いた大変貴重な冊子でもあります。

問合せ
〒949-8501
十日町市千歳町3-3
十日町市総務課広報聴係
TEL
025-757-3111
頒価 1,000円

あ と が き

県・市公連研修会は参加予定者が定員を大幅にオーバーしたため、急ぎよ新潟市白根学習館での開催となりました。

内容的にも、大変充実した研修となったようです。

年度末、いろいろとご多用の毎日と存じます。私もこの31日でご協力に感謝しながら任を去ることとなりました。

内容的にも、大変充実した研修となったようです。

年度末、いろいろとご多用の毎日と存じます。私もこの31日でご協力に感謝しながら任を去ることとなりました。

(鈴木 記)